

IWCから創立150周年を記念する ジュビリーコレクションが登場

シャフハウゼン、2018年1月15日 — IWC シャフハウゼンは創立150周年を迎えます。これを記念するジュビリーコレクションが、スイスのジュネーブで開催中の国際高級時計見本市（SIHH）で発表されました。合計29種となる限定モデルは、「ポルトギーゼ」、「ポートフィノ」、「パイロット・ウォッチ」、「ダ・ヴィンチ」の各コレクションの新作に加え、IWC初となるデジタル式の時分表示を備えた腕時計も登場します。すでに1884年のバルウェーバー・ポケットウォッチで採用されていた表示方式です。ジュビリーコレクションの全モデルに共通するのは、ホワイต์またはブルーの文字盤にプリントを施したデザインです。何層もラッカーを塗り重ねて仕上げる表面の光沢が、バルウェーバー・ポケットウォッチに採用されていたエナメル文字盤を想起させます。

創立150周年を記念する

IWCジュビリーコレクションが登場

1868年、大いなる開拓者精神を抱いた米国人の時計師、フロレンタイン・アリオスト・ジョーンズが、スイス・シャフハウゼンにインターナショナル・ウォッチ・カンパニーを設立しました。優秀なスイスの職人たちの技能と、米国の近代的な生産技術を統合し、最高の品質を誇る懐中時計の製造を目指したのです。「IWC創業者の起業家精神と、卓越した技術を追求する飽くなき情熱は、IWCに今もなお深く息づいています。そうして、精密なエンジニアリングと時代に左右されない独創的なデザインを兼ね備えるタイムピースを生み出し続けてきました。ジュビリーコレクションではIWCの歴史を代表するモデルを取り上げ、時代を超越した共通のデザインコードを採用することで、世界に二つとない特別なコレクションを創造しました」と、IWC シャフハウゼンのCEO、クリストフ・グランジェ・ヘアは語ります。

コレクションを一つに結ぶデザイン要素

すべてのモデルに共通しているのが、ホワイต์またはブルーの文字盤です。「高品質ラッカーを最大12層も塗り重ねて研磨し、最後にブラシで加工するという非常に手の込んだ工程で仕上げた表面に、数回にわたってプリントを施します。歴史的なバルウェーバー式時計では、特別な美しさを湛えたエナメル文字盤が採用されていました。ジュビリーコレクションのデザインはここからインスピレーションを得ています」と語るのは、IWCのクリエイティブ・ディレクター、クリスチャン・クヌープです。ホワイットの文字盤にはブルースティール製の針を、ブルーの文字盤にはロジウムメッキの針

を合わせました。文字盤にプリントを施すこの手法とブルースティール製針の採用は、1939年に発表された初代「ポルトギーゼ」(Ref. IW325)から着想を得たものです。いずれのモデルにもブラックのアリゲーター・ストラップが装着されており、メダルまたはエングレーヴィングとして「150 Years」のジュビリーマークが記されています。

ジュビリーコレクションのラインナップ

「IWCトリビュート・トゥ・バルウェーバー “150 イヤーズ”」(Ref. IW505001/IW505002/IW505003)は、IWC初となる、デジタル式の時刻表示を備えた腕時計です。早くも1884年からシャフハウゼンで製造されていた歴史的なバルウェーバー・ポケットウォッチと同様、回転ディスクを使用して、針の代わりに大きな数字で時と分を表示します。

「ポルトギーゼ・コンスタントフォース・トゥールビヨン “150 イヤーズ”」(Ref. IW590202/IW590203)では、初めてコンスタントフォース・トゥールビヨンとシングル・ムーンフェイズ表示の組み合わせが実現しました。「ポルトギーゼ・パーベチュアル・カレンダー・トゥールビヨン “150 イヤーズ”」(Ref. IW504501)は、永久カレンダーとトゥールビヨンが一つの文字盤上に統合されたIWC初のモデルです。「ポルトギーゼ・パーベチュアル・カレンダー “150 イヤーズ”」(Ref. IW503405)では、IWCの定番モデルがジュビリーコレクションの特別デザインで登場します。「ポルトギーゼ・クロノグラフ “150 イヤーズ”」(Ref. IW371601/IW371602/IW371603)では、IWCのアイコンともいえるこのクロノグラフに、初めてキャリバー69000シリーズのムーブメントが搭

載されました。「ポルトギーゼ・ハンドwind・エイトデイズ “150 イヤーズ”」(Ref. IW510211/IW510212) は、純粋な「ポルトギーゼ」のスタイルにジュビリーコレクションのデザインを取り入れたモデルです。

「ポートフィノ・ハンドwind・ムーンフェイス “150 イヤーズ”」(Ref. IW516405/IW516406/IW516407) では、IWC 自社製キャリバー 59800 の採用により、クラシカルなデザインの「ポートフィノ・ハンドwind・エイトデイズ」にムーンフェイス表示が統合されました。「ポートフィノ・クロノグラフ “150 イヤーズ”」(Ref. IW391023/IW391024) と「ポートフィノ・オートマティック “150 イヤーズ”」(Ref. IW356518/IW356519) もまた、特別なジュビリーデザインで登場します。

「ビッグ・パイロット・ウォッチ・アニエル・カレンダー “150 イヤーズ”」(Ref. IW502708) は、IWC 自社製キャリバー 52850 を搭載した、ジュビリーコレクションの中で唯一アニエル・カレンダーを備えたモデルです。「ビッグ・パイロット・ウォッチ・ビッグデイト “150 イヤーズ”」(Ref. IW510503/IW510504) には IWC 自社製キャリバー 59235 を搭載し、「ビッグ・パイロット・ウォッチ」に初めて「12 時」位置の大型日付表示を配置しました。「パイロット・ウォッチ・クロノグラフ “150 イヤーズ”」(Ref. IW377725) は、人気の高い「パイロット・ウォッチ・クロノグラフ」にジュビリーコレクションの特別デザインを採用したモデルです。

「ダ・ヴィンチ・オートマティック “150 イヤーズ”」(Ref. IW358101/IW358102/IW358103) では、「6 時」位置にスモールセコンドを備えた新しい IWC 自社製キャリバー 82200 がデビューを飾ります。そして IWC は、「ダ・ヴィンチ・オートマティック・ムーンフェイス 36 “150 イヤーズ”」(Ref. IW459304/IW459309) で、1990 年代に人気を博したジュエリー・ウォッチの伝統を甦らせます。ケースおよび手首に沿って動くラグを透明度の高い 206 個のダイヤモンド (2.26 カラット相当) が埋め尽くします。

IWC シャフハウゼン

スイスの時計メーカー、IWC シャフハウゼンは 1868 年の創業以来、永遠の価値をもつ時計を製造し続けています。技術革新と創意工夫に情熱を傾け、世界的な名声を確立するに至りました。そして、世界をリードする高級時計ブランドとして、究極の精度と独創的なデザインを融合させ、高級時計製造のマニファクチュールならではの傑作を世に送り出しています。IWC は環境と社会に対する責任を果たす企業として、持続可能な製造の実践、子供たちや若者を対象とする活動に取り組む世界各国の組織の支援、そして環境保護を専門とする団体との提携を行なっています。

DOWNLOADS

ジュビリーコレクションの各種新作の画像は、press.iwc.com からダウンロードをしていただけます。

FURTHER INFORMATION

IWC Schaffhausen
Department Public Relations
E-Mail press-iwc@iwc.com
Internet press.iwc.com

インターネットおよびソーシャルメディア

Web iwc.com/ja
Facebook facebook.com/IWCWatches
YouTube youtube.com/iwcwatches
Twitter twitter.com/iwc
LinkedIn linkedin.com/company/iwc-schaffhausen
Instagram instagram.com/iwcwatches
Pinterest pinterest.com/iwcwatches